

参 加 申 込 時 の 注 意 事 項

※必ず読んでいただきお申込み下さい。

【申込書記入】

- ①参加申込書は競技を公平かつ円滑に行うために必要なものとなるので、正確に記入すること。（提出後、担当者が各項目について確認することがある。）
- ②各種目のエントリー、障害区分番号においては「障害区分・種目表 No1・No2」に従って記入すること。（障害区分によってエントリーできない種目もある。）
※障害区分番号が分からない場合は別紙のフローチャートを使用してください。
- ③障害区分番号 2 3 電動車いす常用とは、家の中でも電動車いすを使用している人のことを言う。
- ④FAX・Eメールで申し込みをした場合は、必ず電話などで到着の確認を行うこと。到着確認を行わず、申込書が届いていない場合、いかなる理由があっても大会への参加はできません。

【エントリー】

- ①障害が重複している場合は、どちらか片方の障害のみでの申込みとなる。（両方の障害区分での申込みはできない）
- ②以下の種目について、同時に申し込むことはできない。
【競走競技】5 0 mと1 0 0 m
【跳躍競技】立幅跳と走幅跳
【投てき競技】ソフトボール投とジャベリックスロー（障害区分 8 を除く）
※全国障害者スポーツ大会では、ソフトボール投とジャベリックスローの同時エントリーが不可となるが、県大会では同時エントリー可とする。（ただし、全国障害者スポーツ大会の選考対象外とする）
- ③その他「障害区分・種目表 No1, No2」必ず確認し申し込むこと。
（フローチャートを使用した場合、申込書と一緒にご提出ください。区分判定の際の参考といたします。）
- ④リレーは各自でチーム編成を行うこと。主催者側でチームは組まない。

【各種目】

- ①トラック競技の1 0 0 m, 2 0 0 m, 4 0 0 mについて、スターティングブロックの使用を希望する者は、申込書の所定の欄に記入すること。なお、陸上競技用スパイクシューズの使用を認める。
- ②視覚障害者で伴走者の必要な人は、各自で手配し、申込書所定の欄に記入すること。
選手の伴走者として陸上競技場内に入る場合は、主催者の用意した「伴走者用ビブス」を着用すること。（競技終了後、必ず返却すること）
- ③5 0 m競争で使用する車いすは日常生活用とする。
- ④車いすで1 0 0 m以上の競争競技に出場する競技者はヘルメットを着用して競技しなければならないとあるが、本大会においては、競技者の判断に委ねることとする。ただし主催者側としては、安全上の観点からヘルメットを着用することを推奨する。
- ⑤トラック競技のスタート合図は英語で行う。
（スタート合図の方法については競技に関する申し合わせ事項に記載しているため、各自練習しておくこと。）
- ⑥走幅跳について、踏み切りの位置を1mか2mを選択すること。選択していない場合は1mとする。
- ⑦視覚障害者で区分 24 の競技者は競技エリアで光を通さないアイマスクやアイシェードを各自用意し、着用すること。
（サングラスタイプは認めない）

【選手介助】

- ①選手の介助者として陸上競技場内に入る場合は、主催者の用意した「介助者用ビブス」を着用すること。申込書の所定の欄に記入すること。その際、競技場内での写真撮影・競技の助言等はできない。（ビブスは競技終了後、必ず返却すること。）
- ②介助者は原則として区分番号 10・16・17・23・24・25、場合によっては区分番号 18・27 も対象となる。また、介助者による競技場内での写真撮影は禁止とする。（見かけた場合は声をかけさせていただきます。）
※写真撮影はスタンドから行う。

【選手介助について】

衣服の着脱や、移動などにおいて競技者が困難な場合のことを言います。

原則として競技者の「不安」「緊張」等による心理的介助は対象となりませんが、競技に支障を来す場合はこの限りではありません。

【全国障害者スポーツ大会の選考について】

- ①全国障害者スポーツ大会（以下全スポ）の選考にあたっては、過去の全スポ大会記録をもとに選出する。なお、全スポへの出場について、広島県は連続出場でない限り原則出場可。
- ②大会が中止（途中での中止も含む）になった場合については、以下の通りとする。
 - I. 前大会（最新の大会）の記録から選考を行う。
 - II. 競技が終了している種目については、選考対象とする。（同区分の全ての組が終了している場合に限る）

【その他】

- ①ナンバーカード（ゼッケン）は、主催者で用意する。（競技終了後、必ず返却すること）
- ②手話通訳・要約筆記は、開・閉会式時、競技場所、表彰時などで対応するので、希望する者は所定の欄に記入すること。

～指導者・施設職員・保護者の方へのお願い～

競技場内へは介助ビブスを着用していない方は入れません。

スムーズな競技進行のためにも、ルール等のご確認にご協力お願いいたします。